

バンド・ワゴン (1953)

THE BAND WAGON

メディア 映画

ジャンル ミュージカル

製作国 アメリカ

色彩 Color

時間 112分

初公開日 1953/12/26

公開情報 MGM

映倫 G

【解説】

MGMミュージカルの熱烈なファンはまず本作をベストに上げる。有名なラスト・ナンバー“Th a t ’ s E n t e r t a i n m e n t”に胸躍らせない人はいないだろう。それがMGMのテーマ曲ともなり、アンソロジー映画の題名にそのままなった。アステアの落ち目ダンサーが再び成功を目指すという、バック・ステージものだが、彼が共演するのが新進バレリーナのS・チャリシー。彼女がまたぐつとモダンな女の子で、往年の伊達男も戸惑うことばかり。しかし、彼は生来の粋人（そう、まるでアステアその人なのだ）、次第に彼女のハートを射止め、一度は失敗した舞台も自分達で創り変え、新たな成功を収める。そんな内容が、当時の最前衛のダンス表現にアステアを取り組ませることになり、非常にクリエイティブな成果をあげた（振り付けはマイケル・キッド）。特に“ガール・ハント・バレエ”の場面は、沢山のエピソードを生んだ。

【クレジット】

監督	ヴィンセント・ミネリ	Vincente Minnelli
製作	アーサー・フリード	Arthur Freed
共同製作	ロジャー・イーデンス	Roger Edens
脚本	ベティ・コムデン	Betty Comden
	アドルフ・グリーン	Adolph Green
撮影	ハリー・ジャクソン	Harry Jackson
音楽監督	アドルフ・ドイッチ	Adolph Deutsch
音楽	ハワード・ディーツ	Howard Dietz
	アーサー・シュワルツ	Arthur Schwartz
出演	フレッド・アステア	Fred Astaire
	シド・チャリシー	Cyd Charisse
	ジャック・ブキャナン	Jack Buchanan
	オスカー・レヴァント	Oscar Levant
	ナネット・ファブレイ	Nanette Fabray